

＜対策のポイント＞

東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）に我が国専門家を派遣し、持続的な食料システム構築にあたっての課題や方策に関する調査・分析を行い、成果を共有することで、**対象国の持続可能な経済発展と、我が国の食品関連企業の持続可能な輸入原材料調達の実現に寄与**します。

＜政策目標＞

- （1）アセアン＋3農林水産大臣会合を通じたアセアン10か国との成果共有
- （2）我が国食関連企業との成果共有
- （3）国際的な環境議論における我が国の取組の発信

＜事業の内容＞

1. 持続可能な食料システム構築のための調査・分析

- ERIAに我が国の専門家を派遣し、持続可能な食料システムの構築に向け、経済的・環境的・社会的な側面からの持続可能性を考慮し、**関連する法制度や政策、阻害要因や課題の特定と分析**、課題解決に向けた提言を行います。

2. ワークショップの開催等による成果の共有、アセアン関係者の意識、能力強化

- 各国の関係者とワークショップを開催し、関係者の持続可能な食料システム構築に向けた問題意識の強化、能力向上を図ります。

3. 提言を通じた成果の還元

- 成果は、アセアン＋3農林大臣会合における報告・政策提言、**アセアン事務局**を通じた各国研究機関等への**成果共有**及び**対象国や我が国食関連企業関係者と共有**します。

これらを通じて、**持続可能な経済発展に貢献するとともに、我が国の食品関連企業の持続可能な輸入原材料調達の実現に寄与**します。

＜事業の流れ＞

国

抛出金
日本（100%）

東アジア・アセアン
経済研究センター
（ERIA）

＜事業イメージ＞

農林水産省
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

専門家派遣

ERIA

食料システムが抱える多くの課題

気候変動

生物多様性

人権、労働

・アセアン各国を対象として、**法制度や政策等の状況**を調査

・持続的な食料システムを構築する上での**課題や方策**について分析

・**政策提言**や、アセアン諸国や我が国の食関連企業との**成果の共有**

・**対象国の持続可能な経済発展に貢献**

・**我が国の食品関連企業の持続可能な輸入原材料調達の
実現に寄与**